

# 彩龍の川だより

国土交通省関東地方整備局  
江戸川河川事務所  
首都圏外郭放水路管理支所  
電話：048-746-7524  
2008年 8月10日[第3号]

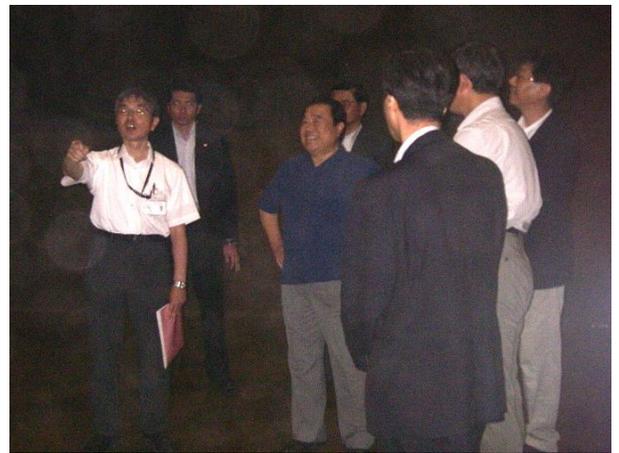
## 冬柴国土交通大臣が首都圏外郭放水路を視察！★★

～調圧水槽の大きさに驚き～

梅雨も明け真夏の太陽が照りつける中、7月31日冬柴国土交通大臣が首都圏外郭放水路の視察に見えられました。平成18年には、北側前大臣も首都圏外郭放水路に見えられており2年ぶりの大臣の視察となりました。冬柴大臣は、最初に会議室で中川・綾瀬川の河川の状況や治水対策、首都圏外郭放水路の施設の概要について北村江戸川河川事務所長より説明を受けられ、熱心に聞き入られていました。そのあと調圧水槽に移動し施設の説明を受けられました。実際に見る調圧水槽のスケールの大きさに驚かれていたようです。



熱心に治水対策の説明を受けられる冬柴大臣



調圧水槽を視察される冬柴大臣

## 狩野川台風から今年で50年★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

～中川・綾瀬川流域で戦後最大の雨量！～

皆様、ご存知ですか全国で最大の浸水家屋数を出した台風は？・・・昭和33年に来襲した狩野川台風です。この台風は、風の被害は少なかったのですが降雨による大きな被害が伊豆半島や関東南部で発生し、狩野川の氾濫等で800人を超える死者が出たほか浸水家屋では、50万棟を超え今までで最大の被害となっています。

狩野川台風により中川・綾瀬川流域では戦後最大の275mm(48h)の雨量を観測し浸水被害が流域全域で発生し4万戸以上が浸水被害を受けました。この洪水や昭和36年にも洪水を受けたため、昭和36年に中川・綾瀬川の中流区間を大臣管理区間に編入し、昭和38年に中川の基本計画(総体計画)を策定して、築堤や河川の掘削及び放水路等の建設を計画に盛り込み、国による治水工事が始められました。

中川・綾瀬川流域は当時と比べ放水路や排水機場が整備されてきていますが、流域の都市化が非常に進み、当時浸水していた区域にも沢山の家屋が建てられた事を考えれば275mmの雨が降った時に決して安全になったとは言いきれないので、このような降雨に対応する計画の検討を行っているところです。また、非常時には、多くの市区でハザードマップを作成していますので、市区の避難情報等が発令されたら、それを活用して安全に早めの避難をお願い致します。

